

第2回大野城市総合教育会議



小学校における 環境教育の取り組み

I 生物多様性の保全に関する環境教育

II 環境出前講座「わたしたちのくらしとごみ」

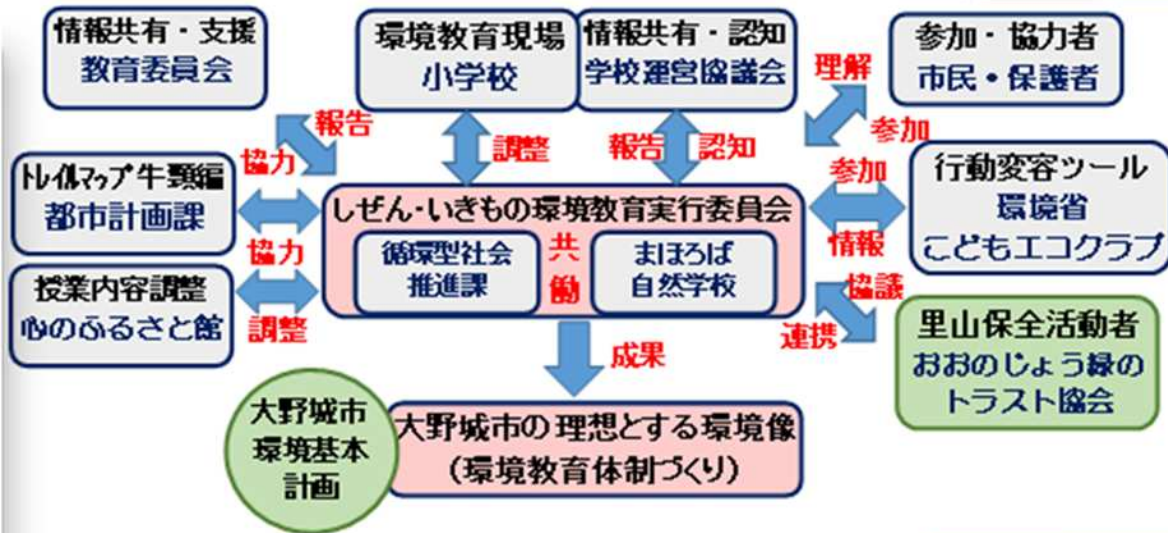
環境経済部 循環型社会推進課

I 生物多様性の保全に関する環境教育

- ▶ 共働事業提案制度（令和元年度採択）事業
- ▶ まほろば自然学校（太宰府市）
×循環型社会推進課との共働
- ▶ 目的：小学校における生物多様性の保全に関する環境教育の仕組みをつくり、こどもの「生きる力」の育成と**自然共生社会の実現**に貢献する。
- ▶ 対象：市内10校の小学生



環境教育の体制



環境教育の授業概要

生物多様性の保全に関する環境教育

年度	実施校	事業数	参加児童(人)	特記事項
R2	9	11	1,051	3事業はコロナ禍のため中止
R3	10	17	1,525	
R4	10	22	590	7月末現在

※1事業は、学年で実施1クラス～5クラス

生き物教育の授業概要

主な授業内容

- 1 身近な自然資源を活かした生き物教育
・われら環境まもり隊（大野小5年総合）
御笠川の生き物から川の状況を知り、環境を守る行動展開
・おおぎのもりのいきもの（大城小1年生活）
大城の森の生き物から豊かな自然を知り、森を守る活動展開 他
- 2 自然教室前の事前学習：海の学習
（平野・大野・月の浦小5年総合）
- 3 教科教育（生活・理科・社会）：いきもののすみか（3年理科）

他



令和3年2月22日大野城市は、 「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言

地球温暖化を防ぐために
2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロをめざすことを宣言しました。

授業で使ったスライド⇒
ゼロカーボンシティ大野城
宣言について

地球温暖化をふせぐために

二酸化炭素を出さない社会づくり

を大野城市は、めざしています。

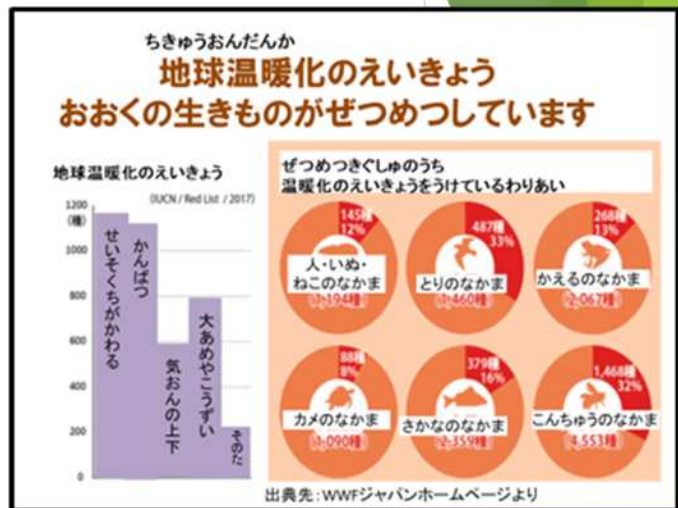
おおのじょう
ゼロカーボンシティ大野城
(二酸化炭素)

2050年までに、二酸化炭素の出すりょう
をゼロにすることをめざしています。

生き物教育のなかで

R3以降は、**地球温暖化の影響**についても展開!

○地球温暖化の影響について
授業で使ったスライドの一部⇒

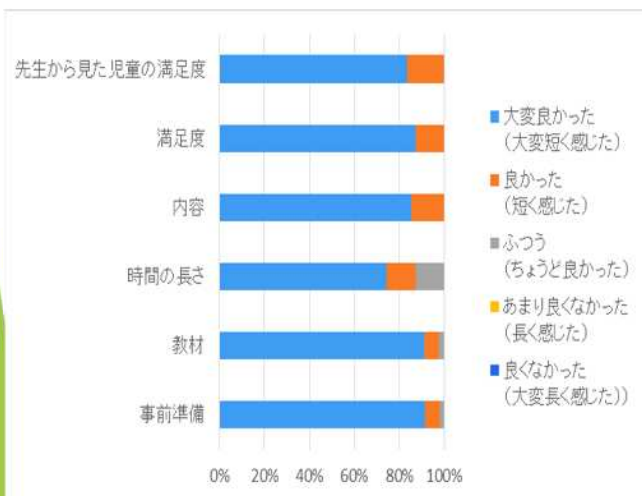


生き物教育の成果

- ▶ 身近な自然資源を活用した環境教育の実施
例：大城の森、御笠川
- ▶ 身近な自然資源を教材化することで**ふるさと意識の醸成**
- ▶ 授業教材（生き物）の**共有化**⇒先生の負担軽減
- ▶ 生き物教育のなかで、地球温暖化の課題提起ができた
- ▶ 参加児童が、授業のなかで生き物に触れることで笑顔になれた

目指す環境教育の成果

教師アンケート（R3）



	実施校数	教師の満足度	児童の満足度
R2	9校	80%	83%
R3	10校	100%	90%
R4	10校	100%	92%

※R2～R3実績、R4目標

Ⅱ 環境出前講座「わたしたちのくらしとごみ」

背景

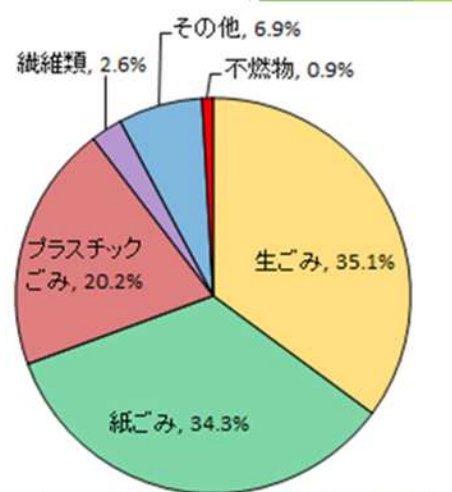
- ▶ R3に市内全校の先生に「環境教育に関するアンケート」を実施
- ▶ 以前は、1～2校程であった、ごみに関する出前講座を4年生社会科「わたしたちのくらしとごみ」のなかで、**環境出前講座**として全校全クラスで実施した。



環境出前講座の組み立て

- ▶ ごみの種類（組成）
- ▶ ごみの処理の流れ
- ▶ ごみを減量する必要性について
- ▶ SDGsの視点
- ▶ 4Rの取り組み
- ▶ 私達にもできる行動
- ▶ 調べ学習で出た質問への回答

以上の項目については、各校のクラス担任の先生方と話し合って決定した



R2家庭から出る燃えるごみの組成 ↑
環境出前講座で使用したスライド

なぜ、ごみを減らす必要があるの？

その理由

- ▶ 大野城市は、人口が増えている
人口が増えることで・・・ごみを増やしていいのか⇒NO
- ▶ ごみ処理場の施設に多くの費用（税金）が必要
- ▶ もえるごみやリサイクルできないごみも最後は、埋め立てている
- ▶ もやして処理することで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が出てしまう

地球温暖化の視点からも講座を展開！

講座で使用したスライド

ゼロカーボンシティ宣言↓

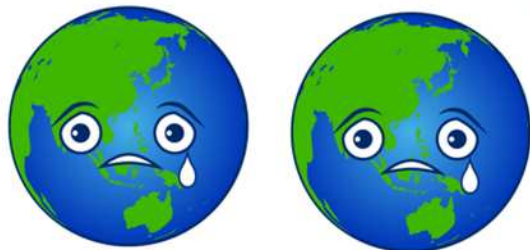
ちきゅうおんだんか

地球温暖化を防ぐために
二酸化炭素を出さない社会づくりを
大野城市は、めざしています。

ゼロカーボンシティ大野城 (二酸化炭素)

2050年までに、二酸化炭素の排出量を
実質ゼロにすることをめざしています。

地球への影響報告↓



世界自然保護基金（WWF）は、報告書「生きている地球（Living Planet）」現在のペースで二酸化炭素の排出と天然資源の乱用が続けば、2030年までに地球が2つ必要になる

SDGsの視点からも講座を展開!

講座で使⽤したスライド
プラスチックごみ汚染⇒

**14 海の豊かさを
守ろう**

海洋プラスチックごみ汚染

▶ 海洋プラスチックごみ汚染とは海の生物や人間の健康に有害なものが、人間によって直接海へもちこまれたり、川や下水などから海へ流れこむこと



SDGsの視点からも講座を展開!

講座で使⽤したスライド
二酸化炭素の吸収源
としての自然⇒

**15 陸の豊かさも
守ろう**

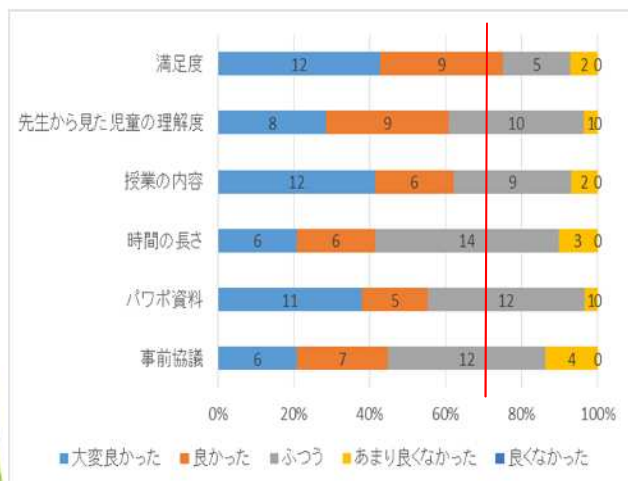
ほんし さとやま
本市の里山

大野城市の面積は、
26.89km²
市の面積の約4割が、
里山です。
里山には、どんな役割
があるでしょうか?

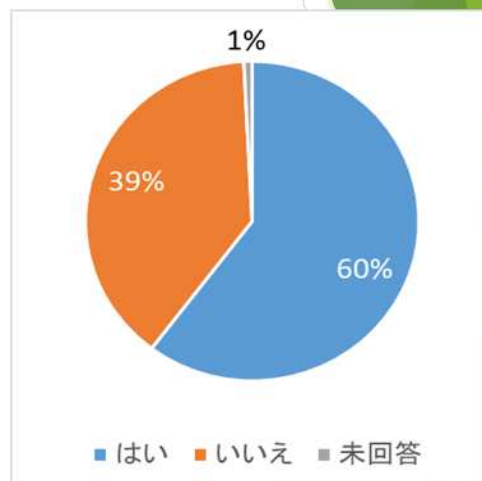


目指す環境出前講座の成果

教師アンケート



児童のSDGs認識率



環境出前講座の成果

- ▶ ごみの授業の総括として、実施できたことで、授業効果の向上
- ▶ 見学後の復習として疑問の解消により授業効果の向上
- ▶ 児童のごみ減量や地球温暖化に対する環境課題への意識向上
- ▶ ごみを減らすことで**地球温暖化防止**につながることへの気づき
- ▶ 子から親への働きかけが期待できる（ナッジ効果）